SEKI HIGH SCHOOL

校歌

一、桜ヶ丘の　風晴れて
あしたさやかに　かがよへり
真澄の叡智　曇りなく
清く雄々しき　文の華
国の誉と　咲かせなん
我等が行く手　永久に明るし

二、彩雲匂ふ　長良川
夕静かに　映えわたる
高なる血潮　胸に秘め
遠き御代より　継ぎて来し
里の栄えを　いや増さん
我等が誓　永久にゆるがじ

ACCESS MAP

■交通機関／長良川鉄道 関口駅から徒歩８分

岐阜県立 関高等学校

〒501-3903 岐阜県関市桜ケ丘2丁目1-1
TEL (0575)22-5688(代) FAX (0575)23-7089
URL https://school.gifu-net.ed.jp/seki-hs/
E-mail c27322@gifu-net.ed.jp

関高校ホームページ

進取・至誠・錬磨

岐阜県立 関高等学校

2027 School Guide

関高校の目指す姿

スクール・ポリシー

■ 校　訓

進取　至誠　錬磨

自己実現と社会貢献ができるひとの育成に取り組む高校として、探究的な学びを推進した教育活動を通してグローバルリーダーの育成を目指す

育てたい生徒像

グラデュエーション・ポリシー

進取の気概 Work hard!

課題解決力や
コミュニケーション力を
身につけ、
どんな困難にも
立ち向かえる生徒

至誠の心 Be sincere!

豊かな人間性を身につけ、
人の立場を理解し、
思いやりある行動が
とれる生徒

日々錬磨 Study hard!

高校時代に確かな
学力を身につけ、
自分の将来を
設計できる生徒

グローバルな視野 Be global!

グローバル社会に
ふさわしい素養を
身につけ、
多文化共生を
目指すことができる生徒

関高生が語る、リアルな学校生活

■ 生徒会長

「関高校でかけがえのない３年間を」

関市立旭ヶ丘中学校出身
３年　安田　心穏

高校生として過ごす３年間は、かけがえのない出会いや自己の成長、進路の実現など、皆さんの人生において重要な分岐点のひとつです。そんな３年間を、皆さんにとって最高のものにする準備はできていますか。

関高校には、さまざまな地域から生徒が集まります。多様な価値観に触れながら築く人とのつながりは、一生を通して大切な財産となるでしょう。また、部活動や体育祭、文化祭といった行事は、日々学業に励む関高生にとって大きな活力となり、仲間とともにかけがえのない思い出を築き上げる場でもあります。全力で挑み、全力で楽しむ経験は、皆さんを大きく成長させてくれるはずです。

さらに、探究活動や先生方からの手厚い支援、先輩方のサポートは、皆さんの可能性を大きく広げ、理想の実現へと導いてくれるでしょう。皆さんの人生において、高校生として過ごす３年間は一瞬です。この３年間を、関高校で最高のものにしましょう。

■ 新入生

「関高校で頑張りたいこと」

美濃市立美濃中学校出身
１年　市原　槇子

私は勉強や探究活動に意欲的な人たちと高校生活を共にしたいと思い、関高校に進学しました。私自身、高校に入学するまでに力を入れていたことがありました。しかし、関高生はそれ以上に一人一人が自分の強みをもっていて圧倒されました。努力する人が周りに多いほど自分も頑張ることができます。私も関高校に入学してから、勉強したい！という気持ちが自然と生まれてくるようになりました。

しかし、関高校は勉強一本という訳でもありません。先輩方は、部活動や学校行事、探究活動にも力を入れて取り組んでいます。関高校には高め合える仲間、意欲的に活動している先輩方、生徒を支えてくださる先生方がいます。どれだけの壁にぶつかるのか分かりませんが、私はこの環境の中で精一杯頑張ります！皆さんにもこのような魅力がある関高校で自己成長できる時を過ごしてほしいです。

学校年間行事

●学校行事　●探究活動

笑顔と挑戦にあふれる充実の１年間

4月
- ●始業式
- ●入学式
- ●対面式
- ●1年次課題解決型研究入門講座（本校）

5月
- ●PTA総会
- ●進路説明会
- ●日本考古学協会総会高校生ポスターセッション参加（首都圏）

6月
- ●前期中間考査
- ●関高祭（体育祭）
- ●校外研修（3年）
- ●中高生模擬国連会議（本校）
- ●岐阜県スーパーハイスクールセッション（岐阜市）

7月
- ●保護者懇談会
- ●中学生高校見学会
- ●SGHネットワーク校全国連絡会議（東京）
- ●まなびかふぇ（関市内）
- ●岐阜県スーパーハイスクールセッション（岐阜市）

8月
- ●文化祭準備
- ●岐阜県スーパーハイスクールセッション（岐阜市）

9月
- ●関高祭（文化祭）
- ●前期期末考査
- ●前期終業式・後期始業式
- ●社会連携セミナーさくら塾（校内）
- ●探究活動リサーチツアー

10月
- ●球技大会
- ●修学旅行（2年）
- ●校外研修（1年）
- ●社会連携セミナーさくら塾（校内）

11月
- ●後期中間考査（1・2年）
- ●学年末考査（3年）
- ●社会連携セミナーさくら塾（校内）

12月
- ●保護者懇談会
- ●探ろう！岐阜の歴史（関市内）
- ●関高ミニ文化祭（関市内）
- ●SGHネットワーク校発表会（関東）
- ●社会連携セミナーさくら塾（校内）

1月
- ●大学入学共通テスト（3年）
- ●社会連携セミナーさくら塾（校内）

2月
- ●学年末考査（1・2年）
- ●3年生を送る会
- ●国公立大学前期日程試験（3年）
- ●社会連携セミナーさくら塾（校内）
- ●関・美濃加茂・各務原三市連携高校生交流会

3月
- ●卒業式
- ●国公立大学後期日程試験（3年）
- ●終業式・離任式
- ●探究活動発表会（校内）
- ●まちの未来、こどもの未来（関市内）

探究する力が、世界を開く

地域から世界へ。関高校では探究活動や多彩な学びを通して、自ら問い、考え、行動する力を育みます。

課題探究活動

自らテーマ設定をし、１年間を通して課題探究活動を展開。
年度末には発表会を実施。

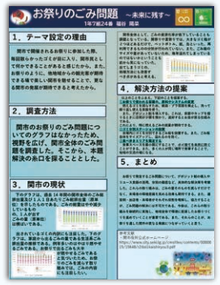
1年次生　情報科、地域課題×個人探究

個人探究活動を行い、データ収集や調査を通じてポスターを作成、発表。

プロジェクトの例（令和７年度）

- Ｋライス米寿庵存続問題
- 美濃加茂市から世界へ　～多文化共生～
- 食で広がる生活
- まちづくりに何を優先すべきか？
- 伝統を守る
- 町と防災　～人とのつながり・防災への関心を強めるために～
- 100年先まで続く洞戸キウイ産業　～地域資源を未来の価値へ～
- 関市における食品ロス実態調査と2Rを通じた食品ロス削減モデルの構築

探究活動発表会



日本語ポスター

2年次生　家庭科、SDGs×グループ探究

グループ探究活動を行い、データ収集や調査、フィールドワークを重ねて、ポスターを作成、発表。ポスターは日本語と英語の両方で作成。

プロジェクトの例（令和７年度）

- 米作り　～難易度：ハードモード～
- みんなを笑顔に（子ども食堂）
- 多様性に理解ある社会を
- 食品ロス
- 心も体も食で健康に（子ども食堂）
- 子どもの居場所をつくろう
- 上之保ゆずーとぴあ

英語ポスター

「探究活動から学んだこと」　２年　樋口　堅信（関市立緑ヶ丘中学校出身）

SDGs12をテーマに食品ロス削減について探究し、事業所や市役所への調査を通して、現場の提案を上層部へ届ける仕組みの重要性を学びました。また、諸問題を題材に解決策を探り提案する過程を通じて、グローバルな人材としての価値を高めながら現代社会に貢献できることに大きな意義とやりがいを感じました。

フロントランナーズ　まちづくり×実践 》関高の探究

希望者は、まち（校外）で活動。地域の各種団体との連携や、研究発表を実施。

プロジェクトの例（近年）

- 関市こども・若者条例
- SEKI米粉倶楽部
- 男女共同参画社会
- 関シェアグラム
- 模擬国際連合
- 円空サトイモ
- 部活動DX
- 子ども食堂
- 本町活性化
- 郷土史

関市イベントで成果報告

SEKI米粉倶楽部の表彰式

高校生まちづくり活動発表会でのプレゼン

ベトナム研修

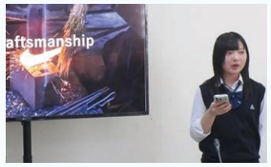
文部科学省 DX ハイスクール、同スーパーグローバルハイスクールネットワーク校、岐阜県地域課題探究型学習推進事業の指定を受ける中で、グローカルな人材育成をめざす様々な事業を展開。
その一環で、海外にある姉妹校などへの訪問を兼ねた海外研修を実施。

ハノイの名所を視察

主なプログラム（近年）

- ハノイ、フエ、ダナン、ホイアンなどの名所を視察。
  ➡**異文化を学ぶ**
- 古都フエの名門国立フエ大学で観光学を学ぶ学生と、英語で交流。大学生による案内で世界遺産をめぐる。
  ➡**語学研修、異文化交流**
- ベトナム屈指の進学校ファンボイチャウ高等学校を訪問、一緒に授業を受けて交流。➡**語学研修、異文化交流**
- JICAベトナム事務所を訪問、日本による支援の現状を学ぶ。
  ➡**国際援助を学ぶ**

JICAで説明を受ける



大学にて英語でプレゼン

「ベトナム研修から学んだこと」　３年　山口　莉央（関市立桜ヶ丘中学校出身）

ベトナム研修では世界遺産や現地の大学を訪れて、歴史を学んだり現地の学生の方たちと交流したりしました。ベトナムの人々はみんな明るくてとても楽しい時間を過ごすことができました。実際に現地に行かないと分からない環境問題の実態をも目の当たりにしました。高校生という今、実際に海外に行ってみることでしか学べないこともたくさんあります。皆さんも、色んなことに挑戦して、自分の世界を広げてみてください。

さくら塾

様々な業界でご活躍されている方々に、本校で講演をしていただく活動を『さくら塾』と呼んでいます。
本校 OB の方も多数お越しいただき、在校生に積極的に関わっていただいております。
さくら塾を機会として、キャリア意識が高まり、第一志望の大学に合格した例は多数あります。

令和７年度の主な開講講座（16 講座開講）

日　程	対象	タ イ ト ル	講 師 な ど
9月26日	３年次	ストーリーを語るとなにかが変わる 看護師から拡がる可能性∞	かぐら訪問看護リハビリ 中井　里美　様
10月24日	３年次	30秒で思いを伝えよう	宇佐見　将太　様
11月14日	全年次	人間科学から拡がる可能性∞	大阪大学人間科学部 和田　陽喜　様
12月　5日	全年次	特別講演　SEKIからSEKAIへ	Apple　inc. 河合　太郎　様
12月22日	全年次	建築士から拡がる可能性∞	平田建設㈱ 平田　敬雄　様　平田　久美子　様
1月30日	全年次	医師から拡がる可能性∞	中部国際医療センター 消化器外科医師　平田　菜々子　様

医師から拡がる可能性∞

「さくら塾から学んだこと」　３年　岩田　祐奈（関市立緑ヶ丘中学校出身）

さくら塾は、「自分を夢に近づけてくれるもの」です。具体的に志望する学部や職業が元々決まっていた私にとって、志望する分野のさくら塾に多く参加したことは、自分の思いや希望を考え直し、より強くする良い機会になりました。志望する分野が決まっていない人にとっても、幅広い分野、職業について取り扱うさくら塾は、自分の目標や将来を考えるのに最高の場です。
さくら塾で得た知識は絶対に無駄になりません。実際に使われる道具や、現場の様子なども知ることができる貴重な機会です。目標が決まっている人も決まっていない人も、興味があるテーマであったら、ためらわずに参加してみてください。みなさんが、本当に叶えたい夢を見つけられるよう願っています。

部活動紹介

運動系部活動

- 硬式野球
- 新体操
- バレーボール
- 卓球
- 硬式テニス
- 剣道
- サッカー
- 柔道
- バスケットボール
- 水泳
- 陸上競技
- ラグビー（同好会）

文化系部活動

- 演劇
- コーラス
- 自然科学
- 地域研究
- 放送・英語
- 文芸
- 茶華道
- 吹奏楽
- 美術・書道

「柔道部で得たもの」

2年
眞鍋　一希
（関市立緑ヶ丘中学校出身）

私は小学校の時に柔道を始めて、今も続けています。私の所属する柔道部では、人数が少ないながらも短い時間の中で集中して考えながら練習に取り組んでいます。練習は大変ですが、技について先輩方とお互いにアドバイスすることや、基礎トレーニングをより効率的にするといった努力が実を結び、個人で東海大会やインターハイにも出場することができました。その時の喜びや達成感は部活動でしか得ることのできない貴重なものでした。勉強と部活動の両立は大変ではありますが、先輩方と学年を超えて錬磨し、仲間との絆が深まる経験はとても大切で人生に活きていくものだと思います。

「文芸部の活動を通じて」

3年
服部　真歩
（関市立旭ヶ丘中学校出身）

文芸部では日々楽しく創作活動に励んでいます。部員同士アドバイスしあったり、顧問の先生に添削していただいたりしながら、作品をブラッシュアップしています。納得のいくまで文章と向き合うのは大変ですが、創作作品をまとめた部誌が出来上がった時には大きな達成感が得られます。言葉や表現方法を知るほど思考の幅が広がるのを実感しています。言葉と真摯に向き合うことを仲間と楽しみながら、一生ものの表現力を磨けるのが文芸部の魅力です。

卒業後の進路状況

主な大学の合格者数（令和８年度入試結果）

国公立大学　合計 136 名

岐阜大学	32名	名古屋大学	7名	医学部医学科（金沢・岐阜）	2名
薬学部薬学科（岐阜薬科大学）	4名	共同獣医学科（岐阜大学）	1名	京都大学	1名
大阪大学	1名	東北大学	2名	大阪公立大学	2名
名古屋工業大学	2名	名古屋市立大学	4名	筑波大学	1名
広島大学	3名	金沢大学	3名	静岡大学	7名
岐阜県立看護大学	3名				

私立大学　合計 654 名

早稲田大学	2名	東京理科大学	2名	上智大学	1名
同志社大学	12名	立命館大学	26名	関西学院大学	9名
名城大学	121名	南山大学	32名	愛知大学	16名
愛知学院大学	14名				

卒業生からのメッセージ

「関高校の支え」

岐阜薬科大学　薬学部　薬学科
千賀　理紗子（郡上市立八幡中学校出身）

私は、岐阜薬科大学に一般選抜で合格しました。私は、高校３年間を通して、先生方や同じ関高の仲間に何度も救われました。私が、受験を通して感じた関高校の魅力について書きたいと思います。

一つは、関高校の手厚いサポートです。私は受験期に精神的な面で壁にぶつかりましたが、先生方は、進路が決まった後も私の心が整理されるまで親身になってくださいましたし、受験の知識が豊富な先生方によって選択肢が広がり、後悔ない結果で受験を終えられました。

また、関高校では受験期だけでなく普段の授業から受験を意識していたり、探究活動の成果を武器に推薦入試に挑むことができたりします。ここには、夢に向かって全力で歩み出せる環境が整っていると思います。中学生の皆さんもぜひ関高校で将来の夢へと前進してください！

「仲間に支えられた高校生活」

名古屋大学　情報学部　コンピュータ科学科
髙木　一磨（関市立緑ヶ丘中学校出身）

私は関高校で得ることのできた最も大きい財産は仲間だと思っています。私にとって高校生活の中心は勉強でしたが、それが続けられたのはいつも隣で仲間が懸命に勉強している姿に励まされたからでした。勉強との両立が大変な部活動を最後まで楽しくやり遂げることができたのも、同じ部活動の仲間と、時には笑いながら、時には真剣に活動できたおかげだと思っています。関高校が力を入れている探究活動に自分も参加しようと思ったきっかけも、仲間に誘われたからでした。目玉行事の文化祭は当日よりもむしろ、同じクラスの仲間と計画し、試行錯誤しながら出し物を作った準備期間が強く思い出に残っています。関高校はそんな新たな仲間に出会い、充実した高校生活を送ることのできる場です。勉強も学校行事もそれ以外のことも仲間とともに協力し合い、一生に一度の高校生活を関高校で充実させてほしいと思います。